

二十世紀から現在まで続く

アジア各地に埋もれた記憶を掘り起こし、

あるいは忘却のプロセスを追うことで、

各地域のアイデンティティがどのように形成され、

変容していくのかに光を当てる。

地域アイデンティティを

新たに構築するための視点・思考を磨き上げる、

京都大学の成果を中心にまとめる

シリーズ第1巻。

記憶と 忘却のアジア

貴志俊彦／山本博之／西芳実／谷川竜一 編著

